

春風秋霜

4月号

平成31年4月1日
島田市教育委員会より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 平成31年度のスタートにあたって

人事異動によって新しい職員を迎え、新しい分掌が決まり、新学期がスタートします。新しく島田市に着任した皆様には、島田市の教育の理解と充実のためにご尽力をお願いいたします。

平成31年度島田市教育委員会の方針及び保護者や子供たち等からのアンケートを基に教育課程の編成作業は行われたと思います。これからの変化の激しい社会に対応する資質の育成と、喫緊の課題に適切に対応するという視点を大切にし、信頼される教育の推進に努めて欲しいと思います。

教育課程は、学校教育目標を達成するために作成された各学校の教育の根幹を貫くものです。長い期間、議論して決めた教育課程です。教育課程に込めた思いを全職員で共有し、この1年間を充実したものにしてほしいと願っています。

2 ジュニア防災士認定について

島田市では、ジュニア防災士の取得を勧めています。主に中学2年生が挑戦し、島田市の取得数は、今年3月末で約1200人となり、この数は県下最多になっています。初倉南小学校の学校便りを読むと、4年生39人が資格を取得したと紹介されていました。これまでも、小学生の資格取得はありましたが、資格取得を目指す児童生徒が多いことに感謝しています。

資格は取得したらそれで終わりではありません。実際の活動につながってこそ価値があると思います。災害はいつ発生するかわかりませんが、いつでも活躍できるようにしておくためには、年2回行われる地区防災訓練において、積極的に参加することが大切だと思います。各学校において子供たちへの働きかけをお願いします。

3 体罰について

千葉県の子供虐待死亡事件に端を発し、しつけか体罰かの問題を真剣に考えた人は多かったと思います。社会のすう勢としては、子供の命には代えられないとして、親であっても体罰は禁止という流れができています。

教育においても、法で体罰の禁止はうたわれていますが、これまで以上に厳しい対応が学校や教員に求められると思います。指導すべきは指導しなくてはなりません。体罰を伴わない指導が大切です。最も大切なことは、普段から教師と子供の信頼関係を築いておくことだと思います。

4 ありがとう体験記の完成について

ありがとう体験記が完成しました。260点を越す応募作文の中から、教育委員で選考した52点を掲載しました。今回は、各種作文コンクールで受賞した3人の作文も合わせて掲載し、作文集としました。

今回は、応募数は減ったものの、学習のまとめや学校行事の反省などと、様々な形式での応募が増えました。今後も多様な応募を期待します。大切にしたいことは子供の感動の大

きさだと思います。

作文を読むと、ありがとうと言われた子供の行動も素晴らしいと思いますが、子供たちの現れをきちんと認め、「ありがとう」を伝えた周りの人たちの存在が大きいと思います。今後も、ありがとうの言葉が溢れる家庭や学校であるために、作文集の積極的な活用をお願いします。

5 研究論文集について

3月12日（火）に教育論文表彰式を行いました。平成30年度の論文応募数は、12人でした。教職3年目の先生方の応募が主でしたが、受賞作品をはじめ、子供の成長を確かに見守る姿に感心しました。また、結論を導き出す根拠がきちんと示されている論文が多く、授業風景が目につかぬ感じがしました。積極的に論文に応募した方々の意欲に感謝します。

今回の表彰者は以下のとおりです。研究内容については、論文集を読み、今後の実践につなげていただけたらと思います。

- ・優秀賞 金谷小学校 曾我 美玖 教諭
ICT機器を活用した合理的配慮
～学習につまずきのある子供へのICT機器を活用した支援方法～
- ・優良賞 六合中学校 四俵 勝 教諭
ていねいな字を書こうとする生徒を育てる授業
～行書のよさを知り、自分の字に愛着をもたせる授業づくり～
- ・優良賞 川根中学校 北村 直也 教諭
授業に集中して取り組むことができない生徒に対する方策

肘かけ椅子

小澤 弥栄子 図書館課長

「春に思う」

春はあけぼの。やうやう白くなり行く山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

ご存知、枕草子の冒頭である。

中学生の頃、担任だった国語教師に覚えさせられた。

最近物覚えが悪くなっているが、その当時覚えたものはなぜか今でも忘れていない。しかも、それをふとした時に思い出すのである。

春暖かくなって朝寝坊してしまった時には、「春眠暁を覚えず」

桜が散っているのを見ると、「しづ心なく花の散るらむ」

それは、詩であったり、歌であったり、小説の一文であったり・・・

日本には美しい四季があり、人は美しい言葉で愛でてきたということを思い出させてくれる。

中学生当時は、ただただ暗記しただけに過ぎなかったが、今思うと、自然や言葉を感じる心も一緒に教えていただいていたのではないだろうか。

それが今自分の中に息づいていると思うと、恩師に感謝したい。